

はやくも7月になりました。一年の半分が過ぎてしまいました。そう考えるのは悲観論者。まだ半分があるじゃないかと考えるのは楽観論者といわれます。みな様はどちら派ですか。ネットワークでは夏の経済教室を控えています。それが終わってやっと半分かもしれません。大学も中学高校も7月は夏休み前の追い込みです。そんななか、今月もネットワークの活動の報告とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

6月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

7月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。夏休みの経済教室関係の変更などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■東京部会 (No.50) を開催しました。

日時：6月12日(火) 19時00分～21時30分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室B。参加は11名でした。

内容：篠原代表の報告、夏の教室の準備状況の報告、新井からの新しく刊行された「現代社会」の教科書の経済分野の分析報告、中川雅之先生からのシンポジウムでのコメント内容の紹介、アメリカにいらっしゃる宮尾尊弘先生から送付された教材の紹介などがありました。内容の詳細に関しては以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo050report.pdf>

■大阪部会 (第29回) を開催しました。

日時：6月16日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト。参加者は14名でした。

内容：ネットワークの野間敏克先生から活動報告に引き続いて、上畑直久先生(京都御池中学校)より、中学公民的分野の「消費生活と経済のしくみ」の学習指導案が報告されました。非常に充実した教材であり、多くの議論がかわされました。次に、河原和之先生(関西大学中等部)から、中学公民冒頭の現代社会の特色のひとつ「少子高齢化」を学ぶ教材「日本の少子化対策を考える」の紹介がありました。また、東京部会で配布された宮尾尊弘先生の資料にもとづいて、現代の経済問題に需要・供給の考え方を応用する場合のポイントが紹介され、あわせて、中川雅之先生の資料も配付されました。

内容の詳細に関しては以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka29repot.pdf>

■法教育シンポジウムに中川先生が登場しました。

ネットワークが後援していた、法に関する教材開発研究会が開催する「シンポジウム・新学習要領における「法教育」のあり方を問う」が 6 月 17 日に開催され、ネットワークから中川雅之先生（日本大学経済学部教授）が指定討論者で登場しました。中川先生の報告のタイトルは「「効率と公正」, 「幸福, 正義, 公正」経済学の考え方」で、効率と公正のトレードオフが生じない例や政策の失敗の例などをあげて、経済学から法を見た時の問題点を指摘されました。

当日は立ち見ができるほどの盛況でした。報告討論のなかでは、教科教育関係の先生方と経済学や憲法学の先生方の捉え方や関心の違いが浮き彫りになり、法教育と経済教育のさらなる対話の必要性を感じさせるものとなりました。

■夏の経済教室の、受付がはじまりました。

夏の経済教室の案内の情報が東京証券取引所の HP でアップされ、受付がはじまっています。また、各学校へ案内状の送付も始まっています。ネットワークの以下の HP を経由して申し込むことができます。また、東京証券取引所の HP から直接申し込むこともできます。東証の HP は以下の通りです。

<http://www.tse.or.jp/learning/education/kyoin/natsu-keizai/index.html>

■経済学勉強会「目からうろこの経済学」は延期されました。

6 月 30 日（土）に予定されていた「目からうろこの経済学」は都合により延期されました。今後の予定は、確定次第、メルマガなどでお知らせいたします。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。また、夏の経済教室の最新の情報を掲載します。

■夏の経済教室の新しい情報です。

(1) 広島の中高の日程が逆になりました。

8 月 2 日（木）と 3 日（金）に予定されていた広島会場の夏の教室、当初は、2 日中学校、3 日高等学校対象で案内をいたしましたが、現地の先生方の研修会と重なったため、初日 2 日を高等学校対象、3 日を中学校対象と逆にしました。講義内容に関しては変更ありません。すでに申し込みをされた先生方には、個別に変更を案内いたしました。また、日程変更後の修正したチラシを地域の学校に再送いたしました。

予定されていた先生方にはご迷惑をおかけいたしました。

(2)現在の申し込み状況

6月末段階の各会場の申し込み状況は以下のようになっています。

広島	2日 22名、3日 20名
大阪	6日 79名、7日 68名
名古屋	8日 50名、9日 35名
東京高校	16日 131名、17日 126名
東京中学	20日 107名、21日 97名

東京、大阪会場は順調ですが、はじめて開催する広島会場、名古屋会場は申し込み数がやや少なくなっています。

広島、名古屋地区にお知り合いの先生がいらっしゃったらお声をおかけいただけると有難く思います。特に、今年は法教育との対話（中川先生担当）の講義がありますので、ひろくお声をかけていただければと思います。

■関連団体の動き

(1)金融広報中央委員会からのお知らせが二つあります。

A) 金融広報中央委員会「教員のための金融教育セミナー」のご案内

金融広報中央委員会主催「教員のための金融教育セミナー」が、7月31日（火）に日本教育会館にて開催されます。

このセミナーでは、パネル・ディスカッションや実践発表、ワークショップなどを通じて、金融教育の実践に向けた手がかりをご紹介します。金融教育に関心のある先生方の参加を募っています。

詳細は以下の URL をご参照ください。

<http://www.shiruporuto.jp/event/2012/12semi/index.html>

B) 金融広報中央委員会「第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」のご案内

第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクールを実施いたします。

応募資格は、幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校等教員、教職課程在籍または教職を目指す大学生、大学院生、大学教官等研究者の方々です。

募集部門は、小論文部門、実践報告部門の二つがあります。特賞1編（賞状と賞金30万円）、優秀賞 各部門2編（賞状と賞金10万円）ほか与えられます。募集締め切りは、9月30日。

募集要項は以下の URL をご覧ください。

<http://www.ron2012.jp/tc.pdf> にあります。先生方の積極的な応募を期待しています。

なお、二つのお知らせの詳細は、以下の URL をご参照ください。

<http://www.ron2012.jp/>

(2)「NRI 学生小論文コンテスト」を応援しています。（既報）

野村総合研究所が毎年開催している「NRI 小論文コンテスト」が本年度も実施されます。大学生の部は「あるべき社会の姿と私たちの挑戦」高校生の部が「私たちがすべきこと、できること、やりたいこと」のテーマで小論文を募集しています。

コンテストの内容、応募方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.nri.co.jp/publicity/contest/index.html>

(3)近現代史教材授業づくり研究会 第14回大会 (2012/07/28&07/29)

第28回授業のネタ研究会 IN 関西 (2012/08/26) (既報)

詳細は以下のHPをご覧ください。

近現代史教材づくり研究会

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/2012KinGendai14th%20.pdf>

授業のネタ研究会

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/28th%20neta20120826.pdf>

【 3 】 授業のヒント

「新聞切り抜きのすすめ」

夏休みの宿題として新聞の切り抜きを課したらどうかという提案です。新聞に関してここで紹介するのは3回目です。

ネットの時代で切り抜きなんて時代遅れと感じる先生方も多いと思います。ところが、ネット情報は簡単便利な分、知識の定着や関心を深めることに通じないうらみがあります。そこで、温故知新。新聞の切り抜きの提案です。新聞の切り抜きを活用して成功した例では、昨年度日経のストックリーグで最優秀賞を獲得したお茶水女子大附属高校の例があります。グループを指導された藤澤英子先生の指示で、生徒たちが夏休みに新聞の切り抜きをやり、それが一つのきっかけになりテーマを追求するようになったという報告がされています。

切り抜きの効用は、切り抜くときに読み返すことです。あるテーマに関する報道、解説、投書などをフォローすると、そのテーマに対する見通しがある程度たちます。このような「肉体労働」が勉強には必要なんです。どんなテーマでも、またあるテーマを指定してでもよいから、切り抜きを課題として出して、簡単なレポートを書かせてみると効果が確認できると思います。

ただ、最近では家庭で新聞を取っていない生徒もいますから、その生徒には、ケータイでもスマホでもとにかくニュースを検索させプリントアウトできる生徒にはそれを台紙にはったり、ニュースをメモさせたり代替することもお忘れなく。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

ネットワークの副代表の大竹文雄先生から興味深い情報二つが寄せられました。一つは、教科書の市場経済の箇所に出てくるキャベツをつぶす農家の写真に関してです。これが、市場メカニズムの理解に対するミスリードとなることを指摘したレポートを日経センターに書かれています。以下のHPで直接お読みいただければと思います。

<http://www.jcer.or.jp/column/otake/index371.html>

もう一つは、同じく最近の教科書に「エンゲル係数」が消えているという指摘です。これも確かに最近の教科書すべてで消えています。私たちの時代には必ず出てきたし、センターテ

ストでも問われたことがある概念ですが、いつ、どうして消えたのかという疑問を投げかけられました。ネットワークメンバーである教科書会社の編集の方が調べてある程度、その経過は解明されたのですが、私たち現場の人間にとっても死角でした。ネットワークのメンバーの先生方は、教科書「で」教える先生が多いでしょうが、それでも教科書は学習のスタンダードを提供するし、一種の刷り込みにもなります。教科書と言う足元をきちんと見ることの大切さを実感させられる、大竹先生の指摘、問題提起でした。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====

◆◇—————

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇◆◇—————